

## 神奈川県産植物の報告

大谷 茂\*

この報告は神奈川県植物誌(1958)発行後に於ける増補、訂正をあらわすものである。ここに資料を提供された諸賢に謝意を表す。合弁花植物の増補訂正は浅井康宏氏の別刷(1958)を参照せられたい。又著者の本報告書にすでに発表した三浦半島羊歯植物への寄与(1957—1958)並に三浦半島頭花植物の検討(1957—1958)及び三浦半島種子植物の検討(1959)に記録したものはこの報告から除外してあるので、それを見てもらえば幸いである。\*印は増補すべき種であり、\*印のないものは産地の追加又は訂正を要するものである。

1. *Japanobotrychium strictum* (UND.) NISHIDA ex TAGAWA ナガボノナツノハナワラビ  
箱根(台一飯田和 Aug. 17, 1957)
- \* 2. *Ophioglossum petiolatum* HOOKER コヒロハハナヤスリ、フジハナヤスリ  
神武寺(大谷茂 June 28, 1958)
3. *Ophioglossum thermale* KOMAROV var. *nipponicum* (MIYABE et KUDO) NISHIDA コハナヤスリ  
小田原(田代信二 May 1958), 道了山(田代信二 July 1958)
4. *Ophioglossum vulgatum* L. ヒロハハナヤリ、ハナヤスリ  
足柄下都橋町(田代信二 May 5, 1959), 横須賀北下浦(大谷茂 June 28, 1959)

5. 本県産のハナヤスリ目 *Ophioglossales* を次のように統一する。

*Botrychiaceae* ハナワラビ科

*Sceptridium* LYON オオハナワラビ属

*Sceptridium japonicum* (PRANTL) LYON オオハナワラビ

*S. minus* (HARA) NISHIDA ウスイハナワラビ

箱根権現(岸田松若 Oct. 17, 1932-TNS, 39432)

*S. ternatum* (THUNB.) LYON フユノハナワラビ

*S. ternatum* LYON var. *nipponicum* NISHIDA アカハナワラビ

*Japanobotrychium Masam.* ナツノハナワラビ属

*Japanobotrychium strictum* (UND.) NISHIDA ex TAGAWA ナガボノナツノハナワラビ

*J. virginianum* (L.) NISHIDA ex TAGAWA ナツノハナワラビ

*Ophioglossaceae* ハナヤスリ科

*Ophioglossum* L. ハナヤスリ属

*Ophioglossum petiolatum* HOOKER コヒロハハナヤスリ

*O. thermale* KOMAROV var. *nipponicum* (MIYABE et KUDO) NISHIDA コハナヤスリ (Plate 4, Fig. 3)

*O. vulgatum* L. ヒロハハナヤスリ (Plate 4, Fig. 4)

- \* 6. *Osmunda lancea* THUNB. var. *latipinnula* TAGAWA オオバヤシヤゼンマイ  
山北(関場一西尾和子 July 19, 1959)

- \* 7. *Osmunda lancea* THUNB. form. *intermedia* (HONDA) TAGAWA オクタマゼンマイ  
箱根(小塚山山麓一飯田和 Aug. 12, 1958)

8. *Gleichenia Japonica* SPRENGER ウラジロ  
西丹沢 (大滝沢—飯田和 Nov. 22, 1959)
- \* 9. *Coniogramme japonica* (THUNB.) DIELS var. *fauriei* (HIERON.) TAGAWA イヌイワガ  
ネソウ  
湯河原 (飯田和 Aug. 27, 1958)
10. *Microlepia marginata* C. CHR. var. *yakusimensis* H. ITO ケブカフモトシダ  
三浦 (神武寺—倉田悟 Nov. 3, 1959)
11. *Pteris Wallichiana* AGARDH ナチシダ  
湯河原と泉の境 (飯田和 Nov. 12, 1958)
12. *Athyrium viridifrons* MAKINO (= *A. henryi* (BAK.) DIELS. var. *viridifrons* (MAKINO)  
OHWI) ミドリワラビ  
箱根 (田代信二 Aug. 14, 1957)
- \*13. *Cyrtomium fortunei* J. SM. var. *in'ermidium* TAGAWA ミヤコヤブソテツ  
道了山 (飯田和 July 1959)
14. *Cornopteris decurre ti-alata* (HOOK.) NAKAI var. *pilosella* H. ITO タカオシケチシダ  
箱根 (畑宿—飯田和 June 1, Aug. 29, 1957), 湯河原 (広河原—飯田和 Aug. 27, 1958)
15. *Athyrium dimo phophyllum* TAGAWA セイタカシケシダ  
小田原城趾 (飯田和 Oct. 1958)
16. *Dryopteris championi* (BENTH.) C. CHR. サイコクベニシダ  
足柄下郡橋町 (羽根尾—西尾和子 1957)  
橋町羽根尾産のものをマルバベニシダと記録したものは同定の誤りであった。
17. *Dryopteris hondoensis* KOIDZUMI オオベニシダ  
丹沢 (西沢—田代信二 Aug. 18, 1958), 箱根 (須雲—飯田和 1959), 湯河原 (飯田和 1959)
- \*18. *Dryopteris sieboldii* (van HOUTTE) O. Ktze. ナガサキシダ、オオミツテ  
湯河原—泉の境 (陣野一郎 March 12, 1958)
19. *Gymnocarpium oyamense* CHING エビラシダ  
箱根 (小塚山—勝俣孝一 June 30, 1959), 矢倉岳 (田代信二 April 1958)
20. *Lastrea viridifrons* (TAGAWA) TAGAWA ミドリヒメワラビ  
神武寺 (大谷茂 Oct. 15, 1958—倉田悟 Nov. 3, 1959)
- \*21. *Lepidogramma mollissima* CHING var. *pilosissima* (H. ITO) KURATA アラゲミソシダ  
神武寺 (倉田悟 Nov. 3, 1959)
- \*22. *Lunathyrium fimbriichlamys* KURATA ナチシケシダ  
小田原 (十字—飯田和 May 5, 1959), 神武寺 (倉田悟—Nov. 3, 1959), 湯河原、初島、  
熱海
- \*23. *Polystichum × izuense* KURATA カタイノテモドキ  
奥湯河原 (田代、飯田、脇田 1959)
- \*24. *Polystichum Mashikoi* KURATA アマギイノテ  
奥湯河原 (田代、飯田、脇田 1959)
- \*25. *Polystichum neo-lobatum* NAKAI イナイノテ  
西丹沢 (西沢—小田原シダの会 Aug. 18, 1958., 車沢—小田原シダの会 Aug. 29, 1959)  
本種は信州下伊那郡遠山川上流の北又沢神ノ石に発見されたもので、丹沢は本邦第二の産地という  
べきである。小田原シダの会々員飯田和氏は昭和34年11月22—23日の採集行で佐藤幹之氏の案内で  
更に新産地二ヶ所を確認している。
- \*26. *Polystichum × OKANUM* KURATA ナメライノテ

- 西丹沢 (水の木沢—田代信二 Aug. 28, 1959)
27. *Polystichum rigens* TAGAWA オニイノテ  
山北 (洒水滝奥地—田代信二 July 13, 1958)
- \*28. *Polystichum ret. oso-paleaceum* (KODAMA) TAGAWA サカゲイノテ  
箱根 (畑宿—田代信二 Dec. 14, 1957)
29. *Rumohra nipponica* CHING ミドリカナワラビ  
西丹沢 (石動沢—飯田和 Nov. 23, 1958), 道了山 (旭ヶ丘生物クラブ 1959)
- \*30. *Asplenium pekinense* HANCE (= *A. Sarelui* HOOK. var. *pekinense* (HANCE) C. CHT.)  
トキワトラノオ  
奥湯河原 (大谷茂 Nov. 10, 1957), 小田原城趾 (飯田和 Sept. 27, 1958), 山北奥地 (田代信二 July 13, 1958)
- \*31. *Pyrrosia pekinensis* (C. CHR.) CHING イワダレヒトツバ  
山北 (人遠—飯田和 June 21, 1958)  
本種は北支に分布するといわれていたヒトツバ属中の珍種である。東三河の三輪村で山本隆氏が発見し鳥居喜一氏が三河植物目録 (1944) にラッシュンダとして記録されたものと同じもので、本県の山北は実に本邦第二の産地である。
- \*32. *Antrophyum obovatum* BAKER タキミシダ  
湯河原—泉の境 (飯田和 Nov. 12, 1958)
33. *Lycopodium cernuum* L. ミズスギ  
鎌倉 (久内清孝—Herb. TNS)  
本種は箱根のはすでに絶滅し、鎌倉のも今は確認出来ないけれども記録として残しておく。
- \*34. *Lycopodium cryptomerinum* MAXIM. スキラン  
丹沢 (塔ヶ岳よりユーンシク近くで—小島俊郎 July 14, 1954., 西丹沢用木沢—田代信二 Aug. 19, 1958., 畦ヶ丸—佐宗守 Aug. 21, 1959)  
箱根 (台ヶ岳—福田助雄 1957., 神山—松岡宏輝、飯田和 May 16, 1959., 神山中腹道—飯田和 Aug. 4, 1959., 箱根神社—国見卓 1959)
- \*35. *Lycopodium Sieboldii* MIQUEL ヒモラン  
奥湯河原 (小田原高校生 Sept. 21, 1958. 飯田和確認 1959)
- \*36. *Ginkgo biloba* L. from. *epiphylla* HONDA お葉つきイチョウ  
茅ヶ崎市堤 (浄見寺—吉野故雄 Nov. 1959)  
本種は大岡越前守の墓所たる浄見寺の雌株のイチョウから吉野政雄氏が昨年11月中旬頃偶然発見したものである。
37. *Eleocharis Kuroguwai* OHWI クログワイ  
横須賀 (久里浜—大谷茂 Nov. 10, 1959)
- \*38. *Asparagus schoberioides* KUNTH キジカクシ  
丹沢 (青根—城川四郎 May 16, 1957)
- \*39. *Heloniopsis orientalis* (THUNB.) C. TANAKA var. *flavida* (NAKAI) OHWI シロバナシヨウジョウバカマ  
丹沢 (早戸川八丁滝—村瀬信義 April 2, 1959)  
本種は関東以西に分布するもので特に西に多いものである。
- \*40. *Paris verticillata* M. v. BIEB. クルマバツクハネソウ  
丹沢 (蛭ヶ岳—城川四郎 July 29, 1953)
- \*41. *Polygonatum odoratum* (MILL.) DRUCE var. *Thunbergii* (MORR. et DECNE.) HARA  
ヤマアマドコロ



- 丹沢 (青根—城川四郎 June 13, 1953). 山北 (高松山—西尾和子 May 10, 1959)
- \*42. *Smilax China* L. form. *Yanagitai* HONDA オオサルトリイバラ、トゲナシサルトリイバラ  
 逗子と鎌倉の境 (小山鉄夫、浅井康宏 May 1958)
- \*43. *Tricyrtis macrantha* MAXIM. var. *Ishiana* KITAGAWA et T. KOYAMA サガミジョウロウ  
 ホトトギス  
 丹沢 (石井初男 Sept. 1957)
- \*44. *Cypripedium debile* REICHB. fil. コアツモリソウ (Fig. 2)  
 丹沢 (姫次—城川四郎 June 2, 1953. 雨山峠〜ユースンの間—伊藤幸太郎 May 3, 1959.,  
 長尾尾根—遠藤将光 May 10, 1959)
45. *Epipactis papillosa* FR. et SAY. var. *Sayekiana* (MAKINO) T. KOYAMA et ASAI ハマ  
 カキラン  
 本種はアオスズランの変種と訂正する。
- \*46. *Epipogium japonicum* MAKINO アオキラン  
 横須賀 (鷹取山—大谷茂 July 13, 1958)  
 本種は前報告 (1959) にアキザキヤツシロランとしたものであるが、ここに訂正する。(本報告  
 三浦半島植物雑記参照)
- \*47. *Gastrodia elata* BE. form. *pullens* (KITAGAWA) TUYAMA  
 丹沢 (一ノ沢峠西面—村瀬信義 July 22, 1959)
- \*48. *Oreorchis p.tens* (LNDL.) LINDL. コケイラン  
 大磯 (高麗山—久内清孝 July 3, 1927). 丹沢 (姫次—城川四郎 June 8, 1959)
- \*49. *Platanthera sachalinensis* FR. SCHM. var. *hondoensis* OHWI オオバナオオヤマサギソウ  
 丹沢 (城川四郎 Aug. 16, 1958)
- \*50. *Vexillabium fissum* F. MAEKAWA オオハクウンラン  
 奥湯河原→泉寄り (西尾和子 1959)
- \*51. *Betula Ermani* CHAM. ダケカンバ  
 丹沢 (蛭ヶ岳—城井四郎 Oct. 5, 1955)  
 神奈川県植物誌 (1958) にシラカンバの記録があるが、神奈川県植物目録 (1933) の記載を尊重  
 してそのまま転記したもので、現在の調査結果ではその自生は認められない。その土地の人はダケ  
 カンバのことをシラカバと呼んでいるところから恐らく上記の植物目録の誤りを生じたのであろ  
 う。神奈川県の花からシラカバは除外するのが妥当である。
- \*52. *Celtis jessoensis* KOIDZ. エゾエノキ  
 津久井 (青根—城川四郎 Oct. 16, 1956)
- \*53. *Balanophora japonica* MAKINO var. *nipponica* (MAKINO) OHWI ミヤマツチトリモチ  
 丹沢 (長尾尾根—村瀬信義 Aug. 1, 1958)
- \*54. *Fagopyrum cymosum* MEISN. シュクコンソバ、シヤクチリソバ (赤地利) (Fig. 3, 4)  
 辻堂 (西町—小原敬 Nov. 16, 1959)

本種は辻堂西町5961地番の孟宗竹林の東側と西側及のぞみ幼稚園構内に群生しているものを小原  
 敬氏の報告によって明らかになったのである。本種が辻堂に発生した根拠は、終戦直後即ち昭和22  
 年頃、当時東京工業大学無機化学科に関係していた後藤勇氏が移植したものであるという事実も小  
 原氏の調査で判明している。当時後藤氏の畠を耕作していた元茅ヶ崎市平和学園教諭福島光雄氏が  
 この事を証明しているのである。その後耕作人が4人も変り現在は住宅も建ち植木直次氏の住居地  
 先となっている。後藤勇氏が何れから持ってこられたか、恐らく勤務地である東京からであろう。  
 この宿根ソバはヒマラヤの高地帯からチベット、支那中南部に分布するもので、最初埼玉県粕壁の



薬草園に栽培され、次いで資源研究所に移植されたようである。小石川の植物園には支那の種子を入れて栽培しているので、東京の近郊には今日逸出して野生化しているのも見られるので、辻堂のものも東京から移入したと思われる。ジャクチリソバは本草綱目の赤地利なる植物が本種に当るといふ考定のもとに牧野先生が命名されたのである。本種は苗葉を食用にもするので野菜ソバの俗称もある。又動脈硬化症の用剤としてのルチン *Rutin* を葉と花から得るために栽培しているものである。

55. *Mollugo verticillata* LINNAEUS クルマバザクロソウ

横須賀 (久里浜一大谷茂 Aug. 31, 1954)

\*56. *Cerastium Fischerianum* SER. オオバナノミミナグサ

津久井 (青根一城川四郎 June 13, 1959)

\*57. *Melandryum Keiskei* (MIQ.) OHWI オオビランジ (Fig. 1)

丹沢 (青根一城川四郎 Oct. 18, 1953., 玄倉一大谷茂 Aug. 11, 1955)

\*58. *Melandryum Keiskei* (MIQ.) OHWI var. *minus* (TAKEDA) TAKEDA ビランジ

丹沢 (水無川、玄倉川、中川、三の塔下、葛葉沢等)

ビランジ並にオオビランジが神奈川県植物誌 (1958) に記録されなかったことは全くのミスであった。丹沢の植物のうちでは一番美しい花ではなからうか。本種は葉の小梗及び莖等に軟毛がある。

\*59. *Anemone Hepatica* L. var. *japonica* OHWI ミスミソウ

津久井 (三井一久内清孝 Feb. 25, 1959)

本種の本県内の自生地としては今のところここ丹沢の姫次 (1960) だけのようである。

\*60. *Clematis japonica* THUNB. var. *brevipedicellata* MAKINO form. *purpureo-fusca*

HISAUTI ムラサキアズマハンショウズル

津久井 (青根一城川四郎 May 18, 1955)

\*61. *Sedum viride* MAKINO アオベンケイ

西丹沢 (水ノ木沢一西尾和子 Aug. 29, 1959)

\*62. *Sedum verticillatum* LINNAEUS ミツバベンケイソウ

逗子 (二子山一大谷茂 Nov. 6, 1955)

63. *Oxalis Acetosella* LINNAEUS コミヤマカタバミ

大山 (鈴木重隆 May 20, 1956)

ミヤマカタバミは本種の変種と訂正すべきである (var. *Japonica* MAKINO)。

\*64. *Celastrus orbiculatus* THUNB. var. *papillosus* (NAKAI et HARA) OHWI イヌツルウメモドキ、オニツルウメモドキ

国府津 (西尾和子 June 28, 1959)

本種は葉の裏に細い毛があり、又葉の下面脈上に短い柱状突起のあるものである。

65. *Euonymus Maackii* RUPRECHT

神奈川県植物誌 (1958) に本種をチョウチンマユミ、ホソバマユミとしてあるも、この両者は別品種である。本種は *E. Sieboldianus* BLUME (マユミ) と同じもので、強いて分ければ品種程度に過ぎないものである。

66. *Acer palmatum* THUNB. var. *Matsumurae* MAKINO ヤマモミチ

本種は神奈川県植物誌 (1958) にイタヤカエデの変種と記録したが、誤りでタカオカエデの変種と訂正する。

\*67. *Viola chaerophylloides* W. BECKER ヒゴスミレ、ナンザンスミレ

津久井 (青根一城川四郎 May 10, 1954)

\*68. *Epilobium amurense* HAUSSKN. ケゴンアカバナ

丹沢 (蛭ヶ岳—城川四郎 July 28, 1953)

69. *Angelica pubescens* MAXIMOWICZ シシウド

鎌倉 (稲村ヶ崎—久内清孝 1959)

本種は元来、横須賀附近木古庭の谷あたりのものがタイプであるが現在その分布は県下ではせまいものといえよう。

70. *Schizocodon ilicifolius* MAXIMOWICZ ヒメイワカガミ

丹沢 (雨山峠—佐宗守 May 3, 1959)

71. *Rhododendron dilatatum* MIQUEL ミツバツツジ

逗子—神武寺

逗子神武寺山中には古くから本種の自生は知られていたが、三浦半島植物誌 (1950) には誤って *R. wadanum* MAKINO として報告されていたものである (前報告1957)。

72. *Vaccinium axillare* NAKAI var. *membranaceum* HARA クロウスゴ

神奈川県下の本属は明確でなく、再検を要するものである。ウスノキ *V. Usunoki* NAKAI も丹沢山、塔ヶ岳等と県植物誌 (1958) に記録しているが再検の必要がある。

73. *Athrrophyllum neriiifolium* HARA タイミンタチバナ

本種を逗子の神武寺山中で久内清孝氏が採取 (Jan. 11, 1913) されているが、今は絶えてしまったようである。

74. *Bladhia crenata* HARA マンリヨウ

逗子 (神武寺, 万合谷戸—大谷茂 Nov. 6, 1954)

\*75. *Bladhia crenata* HARA var. *Taquetii* HARA オオミマンリヨウ、オオバマンリヨウ

真鶴、江の島 (久内清孝) 等

本種は沿海性のものである。

76. *Bladhia crispa* THUNB. カラタチバナ

横浜、鎌倉、逗子 (神武寺、披露山—大谷茂 Nov. 19, 1952., 小古瀬—大谷茂 May 17, 1953., 万合谷戸—大谷茂 Nov. 6, 1954). 横須賀 (小矢部、安針塚、鴨居、武山—大谷茂 Dec. 17, 1959). 三浦市初声等

\*77. *Lysimachia Tanakae* MAXIMOWICZ ミヤマコナスビ

丹沢 (熊木沢出合附近—武田久吉 Aug. 8, 1958)

78. *Palura chinensis* KOIDZ. form. *pilosa* HARA サワフタギ

横浜 (南区、野庭). 多摩丘陵等

本種は湿地によく生ずるもので、三浦半島に出てきてもよいはずだが、まだ確認出来ない。

\*79. *Styrax Shiraianus* MAKINO コハクウンボク

丹沢 (丹沢山—松野重太郎、久内清孝)

本種はハクウンボクより小さく、葉形もちがうもので、又葉縁に鋸歯があるものである。本種を最初に採取したのは牧野先生で本県足柄上郡寄木の地であった。

\*80. *Ligustrum kiyozumianum* NAKAI var. *glabrescens* NAKAI ケナシキヨズミイボタ

三浦半島 (久内清孝) 等。

\*81. *Ligustrum obtusifolium* SIEB. et ZUCC. var. *rubescens* NAKAI ベニガクイボタ

箱根 (久内清孝)

\*82. *Cynanchum Wilfordi* HEMSLEY コイケマ

鎌倉 (靱山泰一). 逗子二子谷等

83. *Cynanchum sublanceolatum* MATSUMURA

本県のカモメズル類は甚だ明確でなく、再検の必要がある。

\*84. *Meehania urticifolia* (MIQ.) MAKINO ラシヨウモンカズラ



津久井 (青根一城川四郎 April 25, 1955)

- \*85. *Solanum japonense* NAKAI ヤマホロシ  
箱根 (靱山泰一) 等
- \*86. *Solanum japonense* NAKAI var. *takaoyamense* (MAKINO) HARA タカオホロシ  
津久井 (青根一城川四郎 Aug. 12, 1955)
- \*87. *Scrophularia musashiensis* BONATI. サツキヒナノウスツボ  
津久井 (藤野一城川四郎 May 5, 1959)
88. *Paederia scandens* MERRILL var. *maritima* (KOIDZ.) HARA ハマサオトメカズラ、シマ  
ヘクソカズラ  
横須賀 (猿島一檜山庫三 Nov. 15, 1959)  
本種は海岸型で、毛は殆んどなく、葉は厚くして光沢あるものである。神奈川県植物誌 (1958)  
にハマヘクソカズラとしているものはこの種である。
89. *Sambucus chinensis* LINDL. ソクズ、クサニワトコ  
本種を神奈川県植物誌 (1958) には *Ebulus* 属としているが、ニワトコ属に入れた方がよいの  
で訂正する。
- \*90. *Weigela decora* NAKAI form. *fujisanensis* (MAKINO) HARA フジサンニシキウツギ  
山北 (大野山一西尾和子 April 29, 1959)  
本種はその花、終始白色のものである。
- \*91. *Weigela floribunda* K. KOCH var. *Nakaii* HARA チシオウツギ  
丹沢 (青根一城川四郎 May 17, 1959)
- \*92. *Ambrosia trifida* LINNAEUS クワモドキ、オオブタクサ  
横浜 (大谷茂 Sept. 13, 1959). 川崎、藤沢  
本種は近年我国に侵入した壮大なブタクサで最近千葉市で渡辺清彦博士により発見せられたもの  
である。本県下でも横浜等の市街地に見出されてきたが、繁殖力も強く将来各地に広く分布するこ  
とであろう。葉の色といい全体の形はにくめないものがある。
- \*93. *Aster Tripolium* LINNAEUS ウラギク、ハマシオン  
横須賀 (久里浜一大谷茂 Oct. 16, 1959)
- \*94. *Carduus crispus* LINNAEUS ヒレアザミ  
津久井 (牧野一城川四郎 May 21, 1959)
95. *Chrysanthemum Decaisnearum* MATSUM. (= *C. pacificum* NAKAI form. *radiatum*  
(MAKINO) KITAMURA ハナイソギク  
横須賀 (大楠海岸一大谷茂 Dec. 25, 1959)
96. *Actinidia hypoleuca* NAKAI ウラジロマタタビ  
逗子 (神武寺一大谷茂 May 27, 1953)
97. *Polygonum Convolvulus* LINNAEUS ソバカズラ  
逗子 (神武寺南麓一檜山庫三 1954)
98. *Euphorbia Lathyris* LINNAEUS ホルトソウ、クサホルト  
横須賀 (不入斗一田中すき子 June 20, 1953)
99. *Skimmia japonica* THUNBERG ミヤマシキミ  
逗子 (神武寺一大谷茂 April 26, 1953)
100. *Phyllanthus Urinaria* LINNAEUS コミカンソウ  
横須賀 (衣笠一大谷茂 Nov. 8, 1953), 南下浦 (剣崎一大谷茂 Sept. 13, 1953)
101. *Euonymus oxyphyllus* MIQUEL ツリバナ  
逗子 (二子山、神武寺一大谷茂 April 26, 1953), 横須賀 (平作一大谷茂 Sept. 24, 1959)

102. *Epilobium pyrricholophum* FR. et SAV. アカバナ  
 返子神武寺、横須賀（野比、千駄ヶ崎—大谷茂 Oct. 12, 1953）
- \*103. *Bidens pilosa* L. var. *bisetosa* S. OHTANI et S. SUZUKI nom. nov. アワユキセンダン  
 グサ  
 横須賀（久里浜—大谷茂 Oct. 30, 1959）
- \*104. *Bidens pilosa* L. var. *intermedia* S. OHTANI et S. SUZUKI var. nov. アイノコセンダングサ  
 横須賀（久里浜—大谷茂 Oct. 30, 1959）  
 本種並に前種については、本報告書別項にある詳細な発表文を参照されたい。
- \*103. *Coeloglossum viride* (LINN.) HARTM. var. *bracteatum* (WILLD.) RICHTER アオチドリ  
 丹沢（塔ヶ岳—大沢斗志郎 May 10, 1959）

### 追 記

No. 6 にオオバヤシャゼンマイを、又No. 7 にオクタマゼンマイを記録したが、両種ともゼンマイとヤシャゼンマイの中間型を示すもので、ヤシャゼンマイに近い型をオクタマゼンマイとし、ゼンマイに近付いた型をオオバヤシャゼンマイとしたものである。形態的にはこの二つのタイプの間に連続的なのみみられるので両種を区別するのはどうであろうか、倉田先生はそういう意味で、オクタマゼンマイ（オオバヤシャゼンマイ）*Osmunda* × *intermedia* SUGIMOTO として発表されているのである（1960）

No. 54 のシャクチリソバを辻堂に持って来た後藤勇氏（昭和30年12月15日死亡）が現在いないので、どこから持って来られたか、はっきりしないが、後藤氏の令兄からの便りでは、昭和21年5月頃、信州より持ち帰ったらしい、その当時後藤氏は岡谷から飯田方面をまわっている、その付近から入手したのであろうか、しかし後藤氏は昭和13年頃から東京工大無機化学教室の植村教授に師事し研究員となっているし、又昭和25年頃からは多年興味をもって研究を続けてきた香料に関する知識をもって理研香料工業株式会社の設立に参画、以来技術指導にあたっていたので、東京から持ち帰ったというほうが可能性が強いように思うものである。

### 引 用 文 献

- 飯 田 和 1960. 小田原シダ雑信. 日本シダの会々報. 43:6—7
- 北川政夫・小山鉄夫 1958. ジョウロウホトトギスの変異. 植物研究雑誌. 33 (8): 27~31
- 小山鉄夫・浅井康宏 1958. ハマカキランに就いて. 植物研究雑誌. 33 (8): 2
- 倉 田 悟 1956. シダ類ノート (9). 北陸の植物, 5 (3): 77~79
- 倉 田 悟 1957. シダ類ノート (19). 北陸の植物, 8 (1): 16~17
- 西 田 誠 1959. 日本産ハナヤスリとその学名. 植物研究雑誌, 34 (2): 33~47
- 西 田 誠 1959. アカハナワラビの再認識. 植物研究雑誌, 34 (5): 135~139
- 佐 藤 正 巳 1957. 有用植物分類学: 162
- 西 条 徹 一 1958. 丹沢山塊の植物相. 植物趣味, 19 (3): 10~11
- 津 山 尚 1952. 日本産オニノヤガラ属雑記, 植物研究雑誌, 27 (1): 19
- 津 山 尚 1956. 日本産オニノヤガラ属雑記 (2). 植物研究雑誌, 31 (3): 83



## Résumé

## New contributions to Florula Kanagawensis

Shigeru OHTANI\*

(With one plate)

This report purposes to record additional knowledge to the "Florula Kanagawensis" published in 1958. Since publication, the author has reported something of the same purpose in the articles titled "Addenda on Ferns from Miura Peninsula, Japan" and "Some Notes on Flowering Plants of Miura Peninsula, Japan", both are in "Science Report of the Yokosuka City Museum (1957-1959)".

The species and varieties or forms which must be added to the Florula are marked with asterisks at the top of their botanical names in the text. About the other species the author records their new localities in the prefecture. Other important items are as follows:- (The numbers before the botanical names refer to the text.)

5. New classification of the Order Ophioglossales, the part of this Order in the Florula (p.6) must be changed as described in the text.

16. *Dryopteris fuscipes* C. CHRISTENSEN of Haneo in Tachibana-machi is *D. Championi* C. CHR.

25. *Polystichum neo-lobatum* NAKAI was found in Mt. Tanzawa. This is the second locality in Japan.

31. *Pyrrosia pekinensis* CHING which is distributed in north China, was found at Yamakita. This is the second locality in Japan.

33. *Lycopodium cernuum* L. is no longer found in the prefecture.

45. *Epipactis papillosa* FR. et SAV. var. *Saekiana* T. KOYAMA et ASAI is the changed name of *E. Saekiana* MAKINO in the Florula.

46. The plant which seems to be *Epipogium japonicum* MAKINO was found in Takatori-yama, but the determination depends upon further research.

51. *Betula Ermani* CHAM. is to be added and *Betula platiphylla* SUKACHEV var. *japonica* HARA be omitted from the Florula.

63. *Oxalis corniculata* L. var. *japonica* MAKINO in the Florula must be *Oxalis Acetosella* var. *japonica* MAKINO.

65. The plant described as *Euonymus Maackii* RUPRECHT in the Florula is *Euonymus Sieboldianus* BLUME.

66. *Acer mono* MAXIM. var. *Matsumurae* MAKINO in the Florula is *Acer palmatum* THUNB. var. *Matsumurae* MAKINO.

72. Reinvestigation is requisite on *Vaccinium axillare* NAKAI var. *membanaceum* HARA and *Vaccinium Usunoki* NAKAI in the Florula. Its existence is still in doubt here in the prefecture.

89. *Ebulus chinensis* NAKAI in the Florula must be changed as *Sambucus chinensis* LINDL.

(to be continued)

\*Yokosuka City Museum, Yokosuka.





Fig. 1



Fig. 2

Fig. 1. *Melandryum Keiskei* OHWI

オオビランジ 丹沢, 玄倉谷

Fig. 2. *Cypripedium debile* REICHB. FIL.

コアツモリソウ 丹沢, 雨山沢

Fig. 3. *Fagopyrum cymosum* MEISN.

シュクコンソバ (ジャクチリソバ)  
辻堂

Fig. 4. *Fagopyrum cymosum*; rhizome

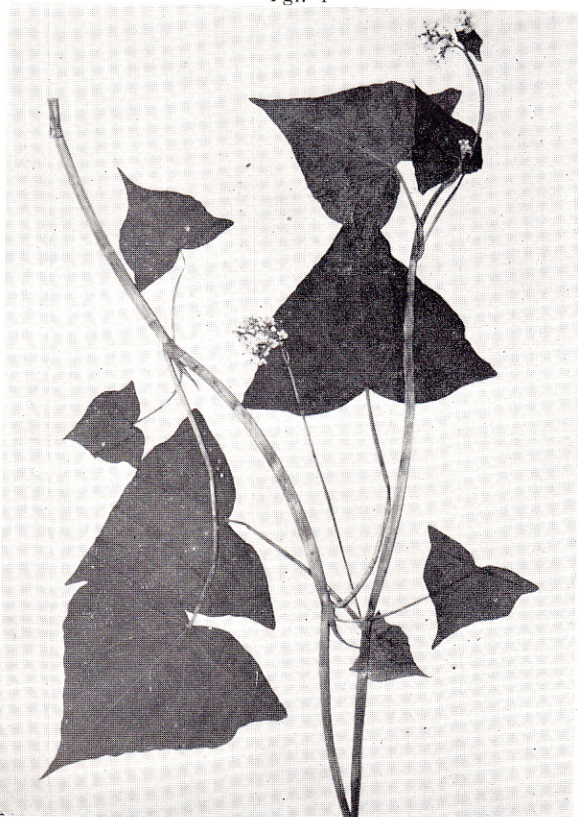


Fig. 3

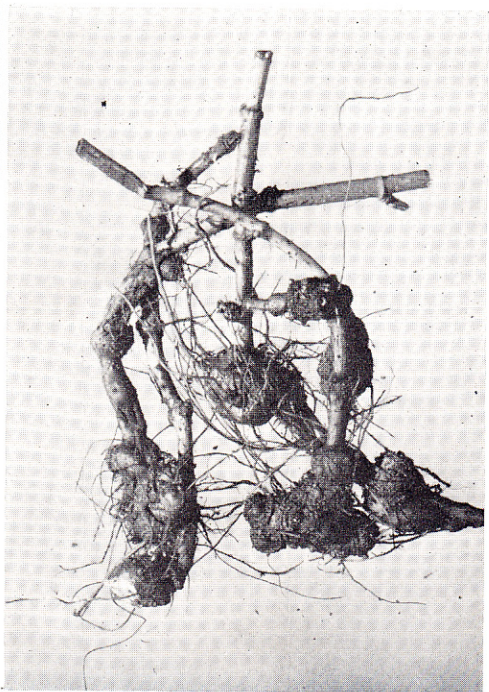


Fig. 4